

種名 アキグミ低木林



アキグミ、ドクウツギ、ヤナギでつくられた林です。荒れ地に、いち早く入ってくる植物によりつくられています。以前は、姫川の上流から河口までの河川敷に、よく見られましたが、洪水後は、河口から1.4～1.6kmあたりにわずかに残っているだけです。洪水後の、土地が安定してきたところでは、大きく発達する植物群落（植物が群がってはえているかたまり）です。

種名 ドクウツギ



北海道から近畿地方にまで分布しています。日あたりの良い河川敷、山の斜面に生えています。高さは1.5mくらいで、花は5～6月頃に咲き、果実は黒紫色になります。アキグミと同じく、河川敷のいろんなどところに生えています。高い林の中の、暗い立ち木の下には見られません。

種名 ニセアカシア



街路樹や、庭木に植えられている落葉樹で、高さ15mにもなります。北アメリカ原産で、世界各地に植えられています。日本でも、砂防工事の後の緑化のために植えられ、各地で野生化したものが見られます。姫川の上流から下流まで見られ、増水後に、しばらくすると、砂や小石まじりのところに、小さな芽生えが見られます。

種名 オトコヨモギ



日本全土に分布しています。日当たりの良い、山地や丘陵地にたくさん生えている草です。茎の高さは、40～100cmで、葉はさじ状のような形かくさび形となり、花は8月～9月頃咲きます。河川敷から堤防の斜面、または、堤防の上のいろんなどところによく見られ、裸地（植物の生えていないところ）にも、よく入りこんでいます。

種名 アキグミ



北海道西部から琉球に分布しています。野山に普通にある落葉樹です。花は5月頃を上向きに咲き、果実は球形で、秋に赤く熟します。姫川では、いろんなどところで見られ、丈の低い林をつくっています。ニセアカシアと同じ様に、裸地（植物の生えていないところ）によく入りこむので、現在は小さなものがよく見られます。

群落名 ヤナギ低木林



姫川の中流の細い流れに沿って、ヤナギ類がまとまって生えています。タチヤナギ、カワヤナギ、シロヤナギなどのヤナギ類が生えています。洪水後に、侵入することにより、つくられます。平成7年の洪水によって、見られなくなりました。しかし、今後、川が安定するにしたがって、次第にヤナギ類がまとまってはえてくるところが見られます。